

事業所名

ポップ

支援プログラム

作成日

年

月

日

法人（事業所）理念	こども自身が主体となって楽しみながら、社会ですこやかに成長できる環境を作ります。そのため心とからだの発達を促す「遊び」や「まなび」の場をつくり、それぞれのこどもたちが素敵な芽を出すために必要な力を養える場を提供します。				
支援方針	小集団での療育の強みを生かし、個々の特性や課題に応じた関わりを中心に行います。カリキュラム性のプログラムは設けず、本人の納得のいくところまでやり切ることを目標にし、その時のお子さん達の状態や環境をしっかりと見極めて状況に応じた関わりを行い、課題解決に取り組みます。				
営業時間	9時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	個々のお子さんの特性や能力に応じて、運動遊びのなかで身体的・精神的・社会的な発達を促します。運動・精神機能を評価し、食事や衣類の着脱、排泄など、生活に必要な基本的スキルを獲得できるよう支援します。			
	運動・感覚	ポップでは、理学療法士による運動・感覚機能の側面を含めた評価のもと、姿勢や運動・動作の向上、感覚の統合的な活用のための支援を遊びを通じて行います。より専門的な視点で、なぜその動きができないのか、苦手なのかを適切にみきわめ、運動や遊びの組み立てを行います。成功体験を積み上げて自己効力感を高めることで、自信を持って新たな挑戦ができるようサポートします。			
	認知・行動	感覚・認知の偏りや、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防と、適切行動の習得を目指します。正しい感覚の入力が適切な認知と行動へとつながるよう、感覚統合や環境を含めた評価を行います。			
	言語 コミュニケーション	言語の発達に必要とされる遊びや身体作り（構音筋を含めた全身筋力）を通じて、体系的な言語の習得を促す支援を行います。言葉が出にくいこどもたちに対しても、代理的な方法の理解や、表出方法を身につけることを目指します。			
	人間関係 社会性	発達段階に応じた感覚遊び、運動遊び、見立てやごっこなどの「遊び」を通して社会性や対人関係の芽生えを促します。児童発達支援ではマンツーマン療育の特徴を生かし、スタッフや保護者とのやり取りを通じた学びを、放課後等デイサービスでは小さなコミュニティの中で、社会生活やコミュニケーションのルールを理解し経験することを目指します。			
家族支援	・専門職（理学療法士、言語聴覚士）に相談できる体制を構築し、ご家族さんご希望に応じて専門職に相談できる日を設けています。	移行支援	就学や就業に向けて、自立課題や学習面での療育を取り入れている。また就労支援施設に見学に行ったりして業務に必要な能力等の聴取を行ったりして、療育に取り入れている。		
地域支援・地域連携	・近隣療育センターや児童発達支援センターの療法士等と連携ができる体制を構築しています。実際にご家族さんからの希望がたい療育センターの療法士などに療育の様子や目標の共有を行い、療育に当たっています。 ・装具ラポSTEPsの義肢装具士さんと提携しており、装具やインソール、靴の相談ができる体制や連携をおこなっています。 ・専門職（理学療法士、言語聴覚士）に相談できる体制を構築し、必要に応じて専門職に相談できる日を設けたりしています。 ・就労支援事業所に出向き、業務に必要なスキルを指導して頂いたりしている。	職員の質の向上	●2カ月に1回以上の事業所内研修の実施 ●事業所内でのケースカンファレンスの実施 ●外部研修への参加 <実績例> 発達障がいセミナー（こべっこランド） 小児ボバースセミナー（ボバース病院） 子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム（長崎大学） その他、理学療法士協会主催研修、全国研修会等		
主な行事等	節分やひな祭り、クリスマス会等の各季節に応じた創作活動の実施。また、お花屋さんとのコラボレーション企画で、生花を使った母の日のフラワーアレンジや手紙の作成などの作成を実施しています。				